おせん
江林智施

折井浚路守
松涛喜八郎

奥村与五右衛門
柳生啓介

おはる
小林祥子

間部越前守
河原崎國太郎

綠子
妻倉和子

大久保加賀守
益城宏

おそめ
前園恵子

伊奈半左衛門
嵐圭史

中山出雲守
清雁寺繁盛

おぬい
秋元辰美

富三郎
松浦海之介

おまつ
今井鞠子

つる
平澤愛

文吉
新村宗二郎

佐太郎
藤井偉策

野口久馬
寺田昌樹

こと
上沢美咲

能勢権兵衛
伊藤哲哉
（助演）

河野勘右衛門
姉川新之輔

永田茂左衛門
山崎辰三郎

萩原近江守
武井茂

新井白石
志村智雄

怒る富士（いかるふじ）

これは、時の幕府の棄民政策に喘ぐ富士山麓・五十九ヶ村の農民たちと、彼らを守ろうとその復興に命を賭した関東郡代・伊奈半左衛門との、真実のものがたりである。

【メインスタッフ】
◆原　作――新田次郎
◆脚　色――田島　栄
◆演　出――十島英明
◆美　術――品川洋一
◆照　明――寺田義雄
◆音　楽――菅野光亮
◆効　果――田村　恵
◆振　付――藤間多寿

【あらすじ】

五代将軍綱吉の世。宝永4（1707）年11月23日（旧暦）、富士が火を噴いた。山麓の村々は焼け砂に埋まり、田畑は壊滅したのである。幕府は急遽、関東郡代・伊奈半左衛門に被災地代官を命じた。だが、幕閣たちは醜い派閥抗争に明け暮れていた。

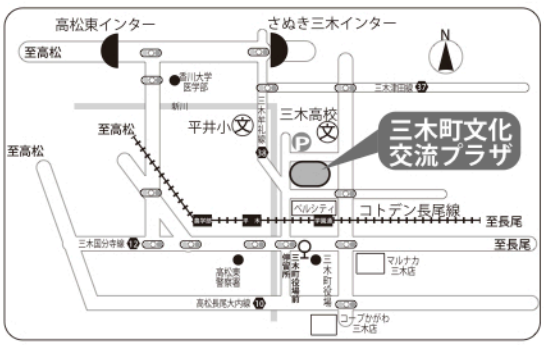
ある日、半左衛門の陣屋に深沢村の若者・佐太郎、ことら4人が訪れた。「食する物は何もなく、鳥さえも去っていった……」彼らは命がけで村の窮状を訴えたのであった。

半左衛門は被災地に急行し農民を励ます。「お上は決して民を見捨てはしない――」と。

だが幕府の裁定は亡所（ぼうしょ）であった。村々では飢えに倒れる者や故郷を捨てる者が相次ぐ。

将軍が代わり実権は柳沢吉保（やなぎさわよしやす）から間部越前守（まなべえちぜんのかみ）に移るが、誰一人として富士山麓に目を向けようとはしなかった。半左衛門は己の命を懸けて公儀に異を唱える決心をする。そして、その義心に心動かされた駿府代官・能勢（のせ）権兵衛（ごんべえ）は……

会場案内図



アクセス

電車でお越しの方　琴電長尾線「学園通り」駅下車　徒歩2分
バスでお越しの方　引田線「三木町役場前」下車　徒歩5分
高速道路等をご利用の方　無料駐車場360台

徳島方面の方　さぬき三木インターで下り、左折し直進（約7分）
愛媛方面の方　さぬき三木インターで下りることはできません。
◆高松東インターで下り側道を直進し、
さぬき三木インター入口の信号右折し、直進してください。（約12分）